

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取り組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
 (他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
 関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム丹原の郷

(ユニット名) 上町

記入者(管理者)
氏名 山内 美登里

評価完了日 平成 19 年 5 月 7 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.理念に基づく運営</p> <p>1. 理念と共有</p>					
1	1	<p>地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>開設時に経営者が作った理念を変更はしていないが、管理者が分かりやすい文章にして、職員間で共有している。</p>		<p>理念を見直しはしていない。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>事業所は、利用者一人ひとりののんびり穏やかな生活を支援することを目指す理念と共に、地域の行事等へ参加することで地域の方達と交流できるよう理念を作っておられる。</p>		
2	2	<p>理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>名札の裏に理念を掲示しているが、職員間では、全職員が十分に浸透していない。 日々理念について振り返っていない。</p>		<p>職員のみでなく利用者にも分かりやすいところに掲示する。 毎日の申し送り時に職員同士確認する。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>センター長は、事業所の理念について、日々の支援に基づきながら、職員に話しておられる。</p>		
3		<p>家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>行事や、運営推進会議の時に話している。また、地域の行事（秋祭り・神明祭り・七夕祭り・敬老会など）に、できるだけ参加している。 広報誌を配っているが理念についての記載はない。</p>		<p>職員が、家族や地域の方々に広報誌や交流を通して理解してもらえるようにしていく。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 毎朝の散歩時に、出会った近所の方に職員利用者とも気持ちよく挨拶をしている。 犬の散歩をしている時にも声掛けあったりしている。		畑作業の事犬のこと等で利用者が出会った人にももう少し話ができるようなきっかけ作りを職員はする。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 交流が持てるように常に努めている。秋祭りの時には地域の神輿やだんじり太鼓台が数多くホームに集まってくれる。地区の敬老会への参加は一部の利用者しかできなかった。 (外部評価) 地域の敬老会の誘い等がある。又、地域の行事開催時には、事業所から何か手伝うことがないかと言うことをお尋ねしている。		地域の行事の情報を調べ、参加できる事はなるべく参加して行きたいと思う。 さらに、今後は事業所のご近所の方達との関係性を深めていきたいと考えておられ、まず、ご近所の方達にもさらに事業所のことを知っていただけるよう、取り組みをすすめていきたいと考えられている。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 同じ敷地内にデイサービス事業や居宅支事業があるので地域の高齢者の方のいるがある。民生委員の方はよく理解していただいている。		民生委員や家族とのつながりを持ち情報交換をし、ホームでの取り組みや介護に関する情報を伝えるように努力して行きたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 昨年の外部評価結果をユニット会で検討し改善点を話し合った。 (外部評価) 職員全員で自己評価に取り組み、各ユニットの主任、センター長がまとめられた。ユニットごとに課題を明らかにされ、今後の取り組みについてもそれぞれで考えておられた。		ユニット会で話し合った改善点を皆で理解し、意識して介護に取り組み少しでも改善して行きたい。自己評価を皆ですることにより現状の反省ともしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			利用者の代表や御家族、民生委員、市役所の方などにおいていただき管理者や各ユニットリーダーが参加し行事やサービスについて話し合っている。ご家族の希望についても話し合っている。		今後も引き続き開催し参加者を増やして行きたい。
			(外部評価)		
			事業所の行事の様子を運営推進会議のメンバーにも見ていただくために、お花見会場で会議を開催された。利用者個々から得たアンケート結果について、出席者の方達から意見をうかがった。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			高校生や研修生との交流を図っている。管理者が主に対応している。		市町村職員にももっと現状の生活を見に来てもらう機会を持ってもらえるように管理者が働きかける。
			(外部評価)		
			事業所でデイサービスやショートステイを行うために、市へ相談されている。さらなる地域の認知症ケアの向上のためにも、地域の介護サービスのニーズを聞き取り、市と話し合っていきたいと考えておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			すべて、管理者が対応している。制度についての勉強会や研修には参加した職員もいる。		職員も権利擁護事業や成年後見制度について、理解を深めるようユニット内で勉強会をしていく。研修会にも積極的に参加する。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待防止法等についての理解への取り組みを、朝会・勉強会でしている。研修会に参加した職員もいるが全員ではない。		虐待防止法についての勉強会を定期的で開催する。外部の研修会にも多くの職員が参加できるようにする。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者が対応している。		管理者の対応にまかせる。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者が直接管理者に話すことがある。アンケートをとったことがあるが記入できる人とできない人がいるため十分な把握になっているかわからない。		利用者の日頃の言動や態度により気持ちを察することができるようによく観察をする。職員は訴えがある前に気付き声掛けできるように努力する。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月御家族には日常生活報告書を作成し、健康状態や暮らしぶりを報告しているが職員の異動については報告していない。 外出や行事には写真を撮り掲示し面会に来られたご家族に見ていただくようにしている。 広報誌でお知らせしている。		家族が面会に来られた時には日常生活報告書に記入していることや最近の出来事などを細かくお話するようにする。 職員の異動についてもその都度報告するようにしていきたい。写真は日常生活の場面でも写していきたい。
			(外部評価) ご家族の来訪時に、ご本人の暮らしぶりについてお話をされている。利用者の居室にもご本人のフォトアルバムが置かれていた。又、共用空間にも行事時の写真が掲示されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会を敬老会やクリスマス会等のイベントの後で開催し話し合いをしている。 話し合った内容は簡潔に職員に伝えられている。		回数を増やしなるべく何でも話しやすい雰囲気作りをする。 また、気軽に参加してもらえよう声掛けして行く。
			(外部評価) 現在は、ご家族等からの要望はあまり出ず「事業所にお任せします。」という声が多いようである。		今後は、利用者のご家族、又、センター長や担当の職員等で定期的に話し合う場を設けたいと考えておられる。顔を見ながら話し合うことで関係性を深め、意見を聴き取りたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ユニット会に管理者も参加し皆で意見を出し合って話し合っている。 ケアセンター全体で話し合うために職員会を年に2回開いている。		全体会の回数を増やし、なるべく多くの職員が参加し意見を述べる場を作る。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 外出時やイベント事はなるべく多数の職員配置をとっている。 ボランティアで出勤してくれる職員もいる。 職員数にゆとりがないのでできないこともある。		職員配置の見直しをする。 他のユニットからの応援を頼むなど工夫をする。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の退職などによりやむを得ない異動があり職員の固定化はできていないと思う。		異動先のユニットで早く利用者やユニットの雰囲気になじめよう自己紹介したり多くの関わりを持つなどくふうしていく。
			(外部評価) ユニット間の職員の異動等により、いろいろな利用者とかかわることで職員は経験を積んでおられる。		ユニットのリーダーを主に、利用者ごとにノートを作り、申し送りの漏れがないよう取り組まれることを考えておられた。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 管理者より研修の指示がある。法人内研修また外部での研修の機会はある。掲示板に研修の情報を張り出している。 研修を受けた人は報告書を書き資料などは全員で見ることができるようになっている。		職員も自ら研修や講演会の情報を調べたりし、なるべく多くの人に参加するようにしていきたい。 研修報告の場をその都度設けていく。
			(外部評価) 事業所内で勉強会等を行っておられ、日常の中では、新人職員は、自分だけで決めてしまわず先輩職員に相談しながらアドバイスをもらう等、連携をとりながら取り組まれている。		さらなる事業所の質向上を目指して、職員個々の研修の希望等も聴き取りながら、すべての職員がスキルアップできるよう、研修の計画をされてみてはどうか。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) グループ法人内のグループホームや施設は知っているが見学を全施設行えてはいない。 (外部評価) 外部研修時、他の事業所の職員の方達と共に学んでおられる。		機会を作りできるだけ見学に行きたい。 見学先の職員の話も積極的に聴きたい。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 管理者と個人面談を行って勤務についてや悩みを相談しているが、時間がとれず行っていない人もいる。		少しずつでも時間を作り話し合う場を持ってもらいたいと思う。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 介護福祉士やケアマネージャー等受験資格を得ている職員には試験への挑戦を勧めてくれる。勉強会などで教えてくれる時もある。		資格取得後その資格を活かせるような環境作りをしていきたい。
<p>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用者本人とどの勤務帯でもなるべく会話をし少しでも多く関わろうとしているがなかなか難しい時もある。		ちょっとした会話の中から本人の考えている事や求めている事など感じ取り記録し、職員で情報の共有をし理解に努める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 管理者が主に行っている。 見学や相談に訪れた時には親身に対応している。		家族から生活歴やこれまでの状況を詳しく聞き情報収集し何を求めているか理解しようと努力する。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時本人やご家族の思い状況などを確認し改善に向けた支援の提案や相談援助を繰り返し信頼関係を築いている。		相談時の本人・家族の実情や要望を元にその時点で何が必要かを見極め事業所としてできる限りの対応に努めたい。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人やご家族また今までに関わっていた方に来てもらいグループホームでの生活を見極めてもらい安心感を持ってもらうようにしている。在宅サービスご利用の利用者の方の中には、隣接のデイサービスセンターの利用中に、ホームとの交流を持ち、施設や職員に馴染んでから入居されるように支援している。		家族などと充分に話し合いながら、本人や家族の納得の行く利用開始の調整を個別に行って行きたい。
			(外部評価) ご自宅から事業所へ入居となる方も多い。事業所側からご自宅を訪問されたり、事業所の見学もしていただいている。入居後はご家族が毎晩様子をうかがいに来られたり、又、外泊をされる等、馴染んでもらいやすいよう取り組まれている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており、平素から利用者に教えてもらう場面が多くもてるように工夫や声掛けに配慮している。		利用者の喜怒哀楽に関心を寄せながら一緒に過ごせるようにしたい。
			(外部評価) 利用者が穏やかに暮らせるよう、職員自身でも穏やでいられるよう心がけておられる。職員は、家事と一緒にされたり、味付けについて意見を聞いたりされていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 職員は家族の思いに寄り添いながら日々の暮らしの出来事や気付きの情報を共有している。利用者を共に支えるために家族のような思いで支援している。		家族との情報交換を密にしていく。 支援を求めている家族の相談にもものる。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族本人の思いや状況を見極めながら外出や家族と一緒に過ごすことを勧めたり誘ったりしている。		利用者とのつながりを深めていけるようホームでの暮らしや介護にも家族が関わる場面や機会作りをしたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 行きつけている美容室に行く利用者や、お墓参りなど利用者と家族の生活習慣を尊重している。		これまで利用者を支えてくれたり、逆に支えたりしてきた人間関係についても把握していきたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) おやつ食事の時間は職員も一緒に多くの会話を持つようにゆったりと過ごし、利用者同士の関係が円滑になるように働きかけている。		集団の中で利用者の関係性に配慮し、孤立した利用者がでないように支援したい。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 出合ったときには懐かしく話したり喜び合っている。家族の方が尋ねてきてくれることもある。		サービス利用が無くなっても、地域の方として遊びに来てもらったりする関係性を大切にしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々のかかわりの中で声をかけ把握に努めている。		利用者の言葉や思いを日々の行動や表情から汲み取り把握するようにこれからも努めたい。
			(外部評価)		
			年代別で利用者個々の生活歴を把握しておられた。又、嗜好や行きたいところ等の聴き取りもされ記録し、職員間で共有されていた。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			利用者自身の語りや家族知人の訪問時など少しづつ把握に努めている。		ひとり一人の利用者についてその人独自の生活歴やライフスタイル、個性や価値観等を把握していきたい。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			生活習慣や心理面での視点や、できることできないことに注目し、その人のみでなく全体の把握に努めている。		家族や関係者の「できないこと」という情報にとらわれずできることやわかる力を本人の生活や全体像から把握して行きたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			利用者が自分らしく暮らせるように本人や家族の要望を聴き入居前にかかわりのあったケアマネージャーにも意見を聞きながら、ユニット会の時やカンファレンスを開き介護計画に生かしている。		職員の視点から見た業務をこなす為の介護計画ではなく、利用者全体の暮らしを反映した介護計画にしたい。
			(外部評価)		
			現在は、ご本人やご家族からの希望・要望が出にくいようであり、職員が気付きや情報を持ち寄り、介護計画を作成されている。		さらに、利用者にかかわる方達の意見の反映が期待される。又、ご本人から意見を出していただけるような働きかけの工夫等も期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			職員が記録している利用者の状態や変化の応じて見直している。また、カンファレンスで多くの職員と話し合っ て家族や本人の要望に応じて見直している。		介護計画と照らし合わせて現状の介護が適切かどうかを随時見直して行きたい。
			(外部評価)		
			利用者の状態に応じて3~6ヶ月ごとの見直しを行っている。身体機能の低下や病気、服薬の内容が変わった時等には、随時に見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別にファイルを用意し、食事排泄など身体的状態や生活の記録を毎日つけている。 毎月介護計画についてユニット会で話し合っている。		介護計画に沿って実践されたか、それによる変化や評価を日常的に記入していきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			定期受診や健診など家族の要望により職員と行っている。 デイサービス事業や居宅支援事業所があるので一緒に行事をしたり、相談にのることができる。 毎週まなべ病院からの往診がある。体調の悪い時はすぐ相談や診察をしてもらう事ができる。		現在の支援で良いと思う。
			(外部評価)		
			美容室に行かれたり病院の受診等には同行し支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 歌謡ショーを毎月してくれたり、踊りや詩吟銭太鼓などの演芸を披露してくれるボランティアが来てくれる。 美容ボランティアも来てくれる。 保育園や中学生の訪問もある。 デイサービスでの生花教室に参加させてもらうこともある。		生花やお茶などのボランティアさんに定期的に来てもらいたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他のサービスを利用する事はあまりない。		必要があれば支援していきたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 管理者が対応している。		職員も研修に参加したり勉強会で教えあっていきたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人やご家族が希望するかかりつけ医となっている。 グループ医療法人との連携がとれているので、すぐ対応して頂いたり適切な指示がもらえている。 (外部評価) それぞれのかかりつけ医を受診されており、市外等の病院にかかっておられる利用者については、ご家族が同行することとなっている。協力医療機関に気軽に相談できる。病院にかかっておられない利用者の方もおられ、お誕生日に協力医療機関で健康チェックをされている。		家族に主治医の説明をしてもらう時の通院介助については連携をとっていきたい。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) かかりつけの神経内科医や脳外科医に相談しアドバイスをもらっている。		認知症に関する研修や対応法を学んで行きたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員を配置しており、常に利用者の健康管理や状態変化に応じた支援をしている。		24時間気軽に相談できるか、体制を見直し取り組んで行きたい。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 家族とも情報交換しながら、回復状況等退院支援している。		退院計画を具体的に立案していく体制を作りたい。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 管理者・医師・家族がそれについて話す機会を作っている。 (外部評価) 認知症の症状の悪化での退居はないが、利用者の身体レベルの低下の状態によっては、グループホームでできることできないことについて、ご家族と話し合いをされ、施設や病院等を紹介されている。		本人や家族の意向、本人にとってどうあったら良いかを、時間を掛けて話し合える機会を作って行きたい。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 急変した場合は、すぐに対応して頂けるよう医療機関とも連携を図り、対応できるようにしている。		職員の力量・諸条件などをアセスメントし、適切な対応ができるように準備していく。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人・家族から情報提供していただき、それらを適切に0アセスメント・ケアプランに適切に反映させ、職員が共有できるようにしている。		家族・外部の関係者との連携をとり、情報収集がスムーズにできるようにしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>更衣は居室で行い、トイレ時もドアを閉めるなどプライバシー保持に努めている。面会簿、その他の記録等は事務所で適切に保管している。</p>		<p>適切な個人情報の取り扱い等について、更に全職員に徹底していく。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>職員は、利用者の排泄の誘導時、耳元で声をかけておられた。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日常生活の各場面（服を選んだり、飲み物を選んだり、行事に参加することなど）について、ご本人の希望を聞いてお手伝いするようにしている。</p>		<p>そのほか、ご自分で判断、決定できる場面がないか、検討していきたい。</p>
			<p>(外部評価)</p> <p>長年一緒に生活していたペットなど、問題がなければ一緒に生活できるように相談していたり、花や野菜など育てるお手伝いをしたり、それぞれの生活歴を大切にするような話し合いをもち実行して行っている。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者個々の性格や好み等を職員は理解し、支援しておられる。</p>		<p>利用者全ての人の希望に対応できているか、モニタリングし評価していきたい。</p> <p>個別で細やかなケアが特徴のグループホームの良さをさらに活かして、さらに、個々のその人らしい暮らしを支援していかれることが期待される。事業所では、利用者のできることはご自分でできるだけしてもらうよう、支援したいと考えておられ、さらなる自立支援に向けた取り組みが期待される。</p>
			<p>(外部評価)</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 季節にあった服装ができるように、衣替えの手伝いや、買物を援助し、行きつけの散髪店などがありお連れできる場合はお連れし、自宅でできていた事が継続できるようにしている。		左記の他に何かできる事が無いが、スタッフで検討している。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 各人の能力を評価し、調理や配膳など役割分担して頂いている。また、技術や知恵など教わる事があれば教わったりしている。 (外部評価) 利用者が食事をする時の姿勢等にも配慮されていた。利用者が職員と共に食事の支度をされたり、洗い物をしておられた。らっきょ作りや梅干し、梅ジュース作りをされていた。		一部の利用者に偏っているので、できるだけ多くの方がメニューを考えるなど、一緒にできることを見つけて生きたい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人や家族と体調など相談しながら、入居後も晩酌を続けて頂いたり、甘いものを楽しんでいただくようにしている。		現在は稀になったようなお菓子やおかず等、レシピを復活し楽しんでいただくようにしていきたい。
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表をつけ、ご本人のプライドを傷つけないようなトイレ誘導をしている。		よくできていると思う。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>気持ちよく入浴して頂くようにスタッフ全員相談し、その人に合わせた声かけをするようにしている。また、その人の生活習慣に合わせた入浴を心がけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者のこれまでの生活スタイルを継続して、夕食後に入浴される方もおられる。午後に入浴を勧めても気乗りしなかった利用者の方でも、夕食後には入られるようである。</p>		ひとり、ひとりの気持ちや週間に合わせるような支援を目指していますが、食事の準備や、タイミングなど合わない事がある。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	<p>(自己評価)</p> <p>一人一人の生活パターンを把握し、その人にあった休息や睡眠が取れるようにしている。また、入眠前には落ち着くようにホットミルクを飲んでいただいたりしている。</p>		不眠が続くような方については、他職種があつまり原因を見極めて、解消できるように努めていきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<p>(自己評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜のみずやり、菊の花を育てる ・カレンダー作り(色塗り、折り紙など手作業) ・調理の手伝い(配膳・盛り付け・後片付けなど) ・洗濯物を干していただいたり、たたんだり ・干し柿作りなど季節感のある行事への参加 <p>(外部評価)</p> <p>読書やお部屋の掃除や庭の草花の水やり、犬の世話や外出等それぞれに役割や楽しみごとを持っておられる。職員は、行事等を通して楽しむ機会や動機付けをされている。</p>		グループホーム内ではなく、社会の中でのウ役割を実感して頂くにはどうしたらいいか、相談検討していきたい。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<p>(自己評価)</p> <p>買物する機会を持っていただき、お金を払ったり、おつりをもらったりしていただく。また、できない方には声かけしたりしてご自分の財布からお金を払えるように援助している。</p>		左記の援助をして頂いている方は現在限られた方なので、その人に合った金銭管理とはどういうことなのかスタッフで話し合い、実践していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			お天気が良い日や、近所で催し物(季節の行事・敬老会など)がある日などは、ご希望のある方は安全に外出を楽しめるようにしている。		継続して、またさらに外出の機会を広げていけるようにしたい。
			(外部評価)		
			ユニットごとに行事を計画され、外食やドライブ等、外出をされている。又、犬の散歩や敷地内の散策も日常的にされている。		さらに今後、事業所では、利用者の身体レベルのことや個々の希望を踏まえて少人数で外出することも検討されている。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			職員が花見や足湯など企画して、ご利用者、家族に声かけし、外出の機会を持っている。		色々なアイデア(懐かしい故郷ツアーなど)をしていっても良いのではと考えている。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			気軽に電話ができるように、電話のところに椅子を置いておき、援助が必要な人は職員がかけたりするお手伝いをしている。また、年賀状など作成から楽しんでもらうようお手伝いし、毎年出していただいている。		年賀状や暑中見舞い、絵手紙など創作から楽しんでいただき、知人等との交流が継続して出来るようにしていきたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面会の方がこられた時は、気持ちよく対応し、行事(敬老会・クリスマス会・お花見など)の時には家族の方にもお知らせし、参加していただくようにしている。		面会時間など特に決める事はせず、ご家族やお知り合いが訪ねて気安いように配慮している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 残存機能を生かしたケアを目指しており、身体拘束はしていない。		スタッフがゆとりを持って、「待つ」事により、さらに個人を尊重するようなケアを目指していきたい。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) ドアにベルをつけ訪問者に気付くようにしたり、スタッフの連携によるケアをおこない。夜間以外は施錠していない。		職員は利用者の活動や所在を把握するように努力する。 不審者の侵入の無いように夜間は施錠をする。
			(外部評価) 玄関は開放され、靴箱の上には利用者個々の帽子が積み重ねてあった。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者それぞれの状況についてスタッフが情報を共有し、適切な目配り、気配りなど、スタッフが連携して安全に配慮している。		勤務スタッフがチームとして、力を合わせてケアをしていきたい。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) その人の生活に合わせて話し合いをし、たとえばマッチやろうそくなど納得して事務所で預かりさせて頂いている。お薬などは事務所で保管させて頂く。そのほかのものは持ち物チェック表を作っているが、特段管理はしていない。		入居時に、ご本人・ご家族と話し合いする機会を持ってほしい。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 誤嚥の可能性のある人は粥やキザミ食にしている。ヒヤリハットの書式を使い、職員皆で反省をしたり改善や対策方法を考え同じ間違いやミスを侵さないように力を入れている。		危険予知訓練などの勉強にも取り組んでいきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 看護師に頼る事が多い。 勉強会などで対応や連絡方法などについて教えてもらっている。		救急法などの学習会や訓練を定期的に行って行きたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 火災訓練をしている。 消火器の取り扱いや避難訓練をしている。が、大きな際外に備えているとはいえない。 (外部評価) 大雨の時には、市役所の支所から排水の状態を見に来てくれる。いざという時には、近隣の鉄工所の協力が得られるように働きかけておられる。		もしもの時には地域の協力が大切だと思うので、自治会や運営推進会議での協力を呼びかけたい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時や体調や歩行レベルが変わった時には、管理者が説明し理解を得ている。職員は話し合ったことは無いけれど、面会の時や手紙でお知らせしている。		面会の時に家族にも理解を得るように職員とも話し合えるようにする。 リスクマネジメントの研修にも参加する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝と入浴前にバイタルチェックをしている。 足の痛みやむくみ、日常からの変化に早く気が付くようにし、職員同士での申し送りを大切にしている。 おかしいなと思ったら看護師や医師に相談したりする。		さらに気をつけて見守り、異変に早く気付き報告や相談ができるようにする。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の管理はリーダー・サブリーダーがしている。しかし処方箋をカルテにも綴じ利用者がどんな薬をいつ飲んでいるかを把握している。薬が変わった時には申し送りを徹底している。 薬を利用者にお渡する時は声に出してお名前を言っている。		くわしい薬の作用までは理解できなくとも現状のことは継続し努力したい。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄チェック表をつけている。 緩下剤を使用している人もいるが、薬に頼らず排便できるようにセンナ茶やヨーグルトを飲んでいる。 繊維質の多い野菜をたくさんメニューに入れるようにしている。		今のままを続ける。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食事の前後には口腔ケアをしている。 毎職後は入れ歯をはずし、洗浄している。週に二回はポリドントで洗浄消毒している。 舌の確認もしている。 ご自分でできる人にはできるところまでして頂く。		今のままを続ける。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養のバランスを考えて献立を立てている。 食事量を毎日記入している。 入浴後や夜間の水分補給に気を配っている。		定期的に栄養指導などをして頂ければよいと思う。 入浴前にも水分補給をするように習慣付けたい。
			(外部評価) 旬の食材をふんだんに利用して、職員と利用者が調理をされていた。利用者個々の水筒が用意されており、利用者が自由にお茶を飲むことができるようになっていた。又、水分摂取量が把握できるようになっている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 外から帰ったら利用者も職員も手洗いうがいをしている。職員は出勤時も手洗いうがいをしている。 消毒薬で殺菌している。ハイター消毒などで家具や便座を消毒している。 ペーパータオルを使用している。		感染症予防の勉強会を定期的に持ちたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>少なくとも3日に1回は食材を買いに行く。 衛生栄養委員会を中心にまな板やふきんの消毒についてまた、冷蔵庫の掃除などに気を配っている。</p>		<p>できていると思うが尚気をつけていきたい。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関先には花を生けたり季節感をだしている。 居室には名札をつけている。</p>		<p>家族以外にも出入りしやすい様に案内板を置く事を検討したい。</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節の花や飾り付けをしている。 畳や床があり家庭的な雰囲気が出ている。 対面キッチンになっており食事の支度をしている時も話が弾む。</p> <p>(外部評価)</p> <p>共用空間には、生花や観葉植物がいろいろな場所にさりげなく生けられており、緑の多い空間となっていた。又、手作りの作品や装飾等もあり、あたたかい雰囲気作りをされていた。</p>		<p>家庭的なりビングづくりを心がける。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>廊下の隅にソファを置き思い思いの話ができるようにしている。</p>		<p>応接間のような空間があれば良いと思う。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>使い慣れたタンス・テーブル・鏡を置いている。好きな写真や花、ぬいぐるみをかざっている。入居前に自宅で飼っていた犬を室内でかわいがっている利用者もいるが、みんなのアイドルになっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者同士の居室の行き来やしつらえ等を工夫し、くつろぐ空間となっている居室もうかがえたが、中にはご本人のその人らしさが、うかがいにくいような居室もあった。</p>		花を飾ったり家具の配置を考え、過ごしやすい空間、くつろぎの部屋作りを今後もしていく。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	<p>(自己評価)</p> <p>毎朝掃除の時や散歩に出かけるときは窓を開け放し換気に気を配っている。</p>		利用者の希望に応じた調節をするが室温計なども参考に調節するように努める。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>階段廊下浴室には手すりが取り付けられており利用している。フローターには洗濯物を利用者が干しやすい洗濯干しを用意していただけることはしていただいている。</p>		安全確保と自立への支援をつづけていく。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>トイレを「便所」と書いてわかるようにしている。居室には名札を掲げて戸惑いを減らしている。わからない時は誘導している。</p>		何がわかりにくいかが、どうしたら本人の力であることができるかを職員でいつも考えあうようにする。
87		建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	<p>(自己評価)</p> <p>建物の周りの土地には草花や野菜を植え利用者の方と一緒に育てている。ウッドデッキで食事をしたり戸外の椅子でおしゃべりをしたり活用している。</p>		季節の野菜や花づくりはとても楽しみにしているので継続して楽しみたい。

サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ③利用者の1/3くらいの	ほぼ全員の思いや願い暮らしの希望を把握しているが実際には3分の1程度しか実行できていない。
89	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある	食事やおやつ、レクリエーションをほとんどの利用者と職員が楽しんでいる。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が	起床や就寝の時間は特に決めていない。その方やその日により異なる。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが	散歩は毎日の日課となっており寒い時でも生き生きと楽しい。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが	買物に職員と一緒にいる。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が	週に1回往診があり、体調の悪い時などはすぐに対応できている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが	職員間で対応できない時は管理者に報告し対応できている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と	毎月日常生活状況を文章で報告しており、面会時にも近況を知らせている。体調不良時や変わった事があったら電話連絡をする時もある。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに	デイサービスに知り合いの方がきて一緒に楽しむ時もある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ②少しずつ増えている 1 大いに増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	4月の花見にも参加していただき楽しんでいただけた。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ①ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	チームワークができており協力しあっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	月に1回は外出や季節の行事を取り入れている。わがままな利用者もいるため対応できないこともある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ①ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	運営推進会議やケアプランのサービス内容でも理解して頂き満足していただいていると思っている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

筋力低下予防の為毎朝散歩に行っている。雨天の場合は廊下歩行を皆でする等日課となっている。寒い時も休んだ事は無い。
 毎日ラジオ体操や口腔体操などを行っている。
 残存機能を生かす為、出来ることは自分でしてもらっている。
 地域性を生かし食べ物や果物狩りにも多く参加している。